

### 総務文教

六月二十七日から三十日までの日程で、高知県土佐町の「中高一貫教育」と「姉妹町としての児童交流」徳島県鳴門市の「子どもの町鳴門プラン」と「職務に対する働きかけ」についてそれぞれの実施状況を調査視察した。

土佐町は連携型中高一貫教育で、六年間で計画的・継続的な教育を行うことよって、個性を伸ばし、豊かな人間性をはぐくみ「受験のための学習」から脱却

### 観光経済

七月十日から十三日までの日程で、北海道帯広市の「がんばる商店街」及び「十勝産業振興センター」の活動状況、江別市の「江別ブランド事典」における情報発信の状況について調査視察した。

その中で、江別市の「江別ブランド事典」は、インターネットを活用し、地域ならではの「もの」を地域住民からの情報をもとに発信しているもので、その中に

し真の意味での「学び」を目標に取り組んでいた。鳴門市は「子どもの町宣言」をし、地域で子どもを育てる取り組みのひとつとして路線バスを活用し「子どもホリデーフリーバス」を運行して社会勉強の機会を増やすなど、合併により行政区域が拡大している当市において参考になる事業であった。また、職務に対する働きかけについての取り扱いは、違法な働きかけがあつた場合は、記録に残し上司に報告するなど定め、行政運営の公正確保と透明性の向上を図ることを

において重要な役割を担っているのが、江別経済ネットワークである。この組織は、産学官連携の場として平成十四年九月に発足後、それぞれの知識を活用しながら当該事業を行っている。

この江別ブランド事典の作成に当たり、市民アンケート調査を実施。市民からの情報を確認後、ネット上で情報発信となるが、その際に、大学との連携により閲覧者のニーズに応えたわかりやすい検査システムを導入を目指している。当市には、県内外に誇れ

目的にしている。要綱制定によるアナウンス効果により、違法な働きかけを抑止できる効果もあるということでした。今回の調査視察を市政に反映させていきたい。



土佐町での総務文教委員

### 民生福祉

七月二十五日から二十八日までの日程で、北海道滝川市の次世代育成支援の取り組みと留萌市のパイオマスタウン構想等について、調査視察した。

滝川市では次世代育成支援対策のために今年四月から保育所と地区児童センターを兼ね備えた「こどもセンターめもる」を開設し、児童センター事業、子育て支援センター事業、延長・

## 常任委員会視察報告

様々な「もの」があります。産学官連携を視野に入れている当市において参考となる事例の一つであると考える。



帯広市での観光経済委員

### 建設

七月二十四日から二十六日までの日程で、石川県金沢市の「金沢21世紀美術館」と同県小松市の「こまつドーム」を調査視察した。

「金沢21世紀美術館」の設計者（共同体）は、現在、当市において建設中の野外芸術文化ゾーンの設計者である西沢立衛氏ということ、また、そのイメージも（現代アート）似ているこ

一時・障害児保育などを行っている。今後はこの施設を核として子育てのための得意な分野を持つ方々による「せわすき・せわやき隊」の活動推進、ファミリーサポートセンターの設立を目指している。次世代育成支援のための中核施設の整備と地域と一体での子育て支援の取り組みは大変参考になるものであつた。

留萌市では環境保全のためにパイオマスによるゴミの資源化に取り組んでおり、国における「地域のパイオマスの総合的かつ効率的な利活用を図るパイオマス

以上となつており、同敷地内の公園、運動場とともに市民の憩いの場となつていた。

公園の形態、あり方など、今回の視察を市政に反映させていきたい。



金沢市での建設委員



滝川市での民生福祉委員